

小樽の衛生小史と保健所の沿革

西暦	年次	記 事
1856	安政3年	幕府雇医師佐藤玄悦（小樽医界の開祖）医療に従事する
1857	4年	蝦夷人による痘瘡死亡多く、我が国最初の強制種痘を行う
1859	6年	石田玄白、信香に医業営む
1865	元治2年	小樽内を村並とした。これを小樽の開基とする
1869	明治2年	9月 兵部省小樽役所病院を設立 10月 開拓使仮病院を銭函に設置
1870	3年	3月 小樽仮役所に病院係を置く 4月 兵部省病院、開拓使仮病院を合わせて小樽病院と称し、潮見台に移築する （院長 佐藤玄悦 医員2名）
1873	6年	6月 娼妓梅毒検査条款制定
1875	8年	天然痘予防規則交付
1877	10年	9月 西南役帰途の屯田兵にコレラ発生、祝津村に避難病院仮設して、収容する（患者 10名 死亡5名）
1879	12年	7月 忍路で水夫1名コレラで死亡後、近村に流行し、避難病院・消毒所・検疫所を設 ける（患者17名 死亡11名）。市内開業医7名を数える
1880	13年	9月 市街消防規則発布。公設消防組設置 10月 手宮・札幌間鉄道開通
1882	15年	3月 官立病院廃止となり、小樽公設病院発足（初代院長 赤木顕吉） 6月 コレラ流行、現市役所付近に隔離病舎を設置
1886	19年	4月 小樽公設病院焼失、相生町に公立小樽病院設置
1887	20年	公立小樽病院に伝染病室新設、麩町に消毒所設置。海湾検疫所を併設
1888	21年	8月 驅梅院開設
1890	23年	2月 公立小樽病院は私立小樽病院となる（院長 重松裕二）
1893	26年	痘瘡流行（患者90名、死亡37名）。この年一般市民2万人、上陸移民1万34人に種痘
1894	27年	2月 私立小樽病院焼失し、廃院となる
1898	31年	11月 衛生組合（24人）を設置。病院7、医師45人、産婆28人を数える
1899	32年	9月 と畜場開設 10月 小樽郡・高島郡下38ヶ町村を統合し、小樽区（自治制）となる
1900	33年	2月 検疫指定港となる
1901	34年	12月 幸町に伝染病院竣工（後の市立長橋病院）
1902	35年	7月 共立小樽施療院開設
1907	40年	12月 小樽区医師会設立（初代会長 吉田元隣、会員51名）
1908	41年	小樽施療院、看護婦・産婆の養成派出事業を行う
1912	45年	1月 小樽学校医会創立 10月 合資会社小樽病院開設（初代院長 瀬戸国治）
1914	大正3年	7月 済生会小樽診療所開設

西暦	年次	記 事
		9月 上水道工事竣工
1918	7年	11月から翌年までスペイン風邪大流行し、り患者・死亡者多数
1920	9年	3月 小樽区10郡歯科医師会設立（会長 長谷川光太郎、会員35名）
1922	11年	8月 市制施行（人口117,953人）
1923	12年	12月 痘瘡流行（患者120名余、種痘実施82,996名）
1928	昭和3年	4月 私立小樽病院買収して市立小樽病院発足（初代院長 奥田喜久三）
1936	11年	5月 市立長橋病院に精神科病舎開設（後の静和病院）
1937	12年	4月 財団法人結核予防会小樽健康相談所が小樽公園内に開設される
1939	14年	4月 道庁小樽保健所として小樽市花園町西3-17にて業務開始
1942	17年	9月 市立療養院開設200床（後の国立療養所小樽病院）
1943	18年	4月 長橋病院精神科病舎を静和病院と改称
1944	19年	10月 道庁小樽保健所が小樽簡易保険健康相談所を吸収し、道立小樽保健所と改称する
1946	21年	各種伝染病流行
1947	22年	4月 国立小樽療養所開設 9月 小樽検疫所開所
1948	23年	10月 市立衛生試験所開設、市立市民病院開設（元市立小樽診療院） 6月 道立小樽保健所を小樽市に移管し、小樽市保健所と改称する 9月 小樽市予算による小樽市保健所として発足 初代所長 熊谷直之 就任
1950	25年	4月 A級保健所に指定
1951	26年	10月 市立療養所開設（伝染病から100床転床） " 性病診療所を併設
1952	27年	9月 新庁舎竣工（小樽市富岡1-47、木造モルタル2階建 延332.66坪）
1954	29年	3月 優生保護相談所を併設 4月 衛生普及会解散し、保健委員制度発足（77地区、1,292名） 6～8月 第1回結核実態調査実施
1955	30年	10月 小樽三師会発足
1956	31年	7月 市民保険解消して国民健康保険発足 11月 医師会付属準看護養成所開所
1957	32年	この年アジアカゼ流行（死亡16名）
1958	33年	8月 第2回全国環境衛生大会開催
1959	34年	3月 併設の性病診療所を廃止
1960	35年	9月 結核対策特別推進地区指定、患者登録開始。全道にポリオ大発生
1961	36年	2月 ポリオ・ソークワクチン緊急接種 8月 ポリオ・生ワクチン接種開始 11月 サロマ湖かきにより集団赤痢発生（患者127名、保菌者55名）

西暦	年次	記 事
1962	37年	10月 獣軀焼却場竣工（処理能力40頭/日）
1963	38年	4月 3歳児健康診査開始
1964	39年	2月 対がん協会胃検診車による集団胃検開始 6月 小樽献血推進協議会設立
1965	40年	9月 小樽高等看護学院開院（現小樽看護専門学校） 7～9月 道内各地で無菌性髄膜炎流行（小樽地区192名） 10月 母子栄養食品（牛乳）を支給開始 11月 第17回北海道公衆衛生学会開催
1966	41年	4月 第2代所長 藤田茂房 就任 5月 医師会付属検査センター開所 9月 老人実態調査（65歳以上、325名） 10月 婚姻時・妊娠時の無料血液検査開始
1967	42年	4月 小樽歯科衛生士学院開院（現小樽歯科衛生士専門学校）
1968	43年	4月 市立小樽病院高等看護学院開院 10～11月 手宮・奥沢地区で赤痢発生（患者231名、保菌者32名）
1970	45年	12月 妊婦無料健康診査を市内医療機関に委託して開始
1972	47年	4月 市衛生試験所を吸収する 5月 新庁舎竣工（小樽市富岡1-5-12、鉄筋コンクリート造3階建 延1,955.4㎡） 7月 乳児股関節X線検査開始
1974	49年	4月 結核予防法改正により、小中学校生徒の検診定期化 " 糖尿病食事療法講習会を医師会、栄養士会との共催で開催 7月 第23回全道公衆衛生大会開催 9月 市立小樽第二病院落成（市立小樽療養所、静和病院、長橋病院、市民病院が統合） 10月 義務教育修了前の者の定期予防接種の無料化
1975	50年	8月 対がん協会検診車による子宮がん検診開始 10月 乳児健康診査を市内医療機関に委託して開始。育児相談、療育相談を開始 " 食生活改善推進員養成講座を開始
1976	51年	2月 医師会、栄養士会と共催で市民健康教室を各町会ごとに開始 7月 市精神衛生協会設立 8月 食中毒警報発令制度発足 12月 風しん流行（年間患者4,912名）
1977	52年	6月 夜間急病センター開設（所長 山内 実） 8月 テレフォン育児なやみごと相談開始 9月 第3代所長 小川 敬 就任 " 小樽母乳を守る会発会 " 風しん予防接種が定期化される。

西暦	年次	記 事
1978	53年	10月 第21回精神衛生北海道大会開催
		11月 第29回北海道公衆衛生学会開催
1979	54年	11月 1歳6か月児健康診査開始
		〃 対がん協会検診車による乳がん検診開始
1980	55年	1月 小樽市地域医療協議会設立
		4月 麻しん予防接種の定期化により医療機関に委託して個別接種を開始
		9月 健康づくり推進協議会設立
1981	56年	1月 対がん協会検診車による乳がん検診を廃止し、市内医療機関に委託開始
		5月 WHO痘そう根絶を宣言
		〃 東日本政令市衛生部局長会議開催
		9月 第15回がん予防道民大会開催
1982	57年	10月 6か月児健康診査開始（対象は低体重児）
		4月 夜間急病センターに外科新設
1983	58年	7月 特定感染症サーベイランス調査開始（18疾病）
		3月 伝染病隔離病舎落成
1984	59年	2月 老人保健連絡協議会設立
		〃 老人保健法による手帳の交付、健診、相談、教育事業を開始
		4月 老人保健法による胃がん検診、子宮がん検診を医師会へ委託
		〃 遺伝相談開始
		7月 6か月児健康診査を全員に拡大
1985	60年	12月 トラホーム予防法廃止となる
		4月 妊婦歯科検診を開始（母親学級参加者を対象）
		7月 へい獣処理場等に関する条例制定
		8月 第33回北海道公衆衛生大会開催
		10月 老人保健法による訪問指導を開始
1986	61年	11月 老人保健法による訪問診査を開始
		4月 狂犬病予防注射が年1回となる
		6月 小児神経芽細胞腫検査を開始
1987	62年	10月 B型肝炎母子感染防止事業を開始
		3月 食肉センターと畜検査室を廃止
		4月 小樽・後志第二次救急医療応需情報システム始動
		10月 老人保健法による一般診査に血液検査を追加。機能訓練「ふれあい教室」を開始
1987	62年	1月 エイズ相談窓口開設(保健所・小樽病院・国立療養所)
		2月 結核感染症サーベイランス事業、オンライン方式開始
		4月 小樽・後志第二次救急医療応需情報システム実施(登録病院10ヶ所)
		7月 アワヨトウ幼虫大発生(届出923件)

西暦	年次	記 事
1988	63年	8月 マイマイガ成虫大発生(届出 46件)
		〃 老人保健法による乳がん、子宮体部がん検診を医師会に委託
		11月 老人保健法による成人歯科相談を開始
		3月 小樽母乳を守る会廃止
		6月 蜂駆除の一部を業者委託開始
1989	平成元年	8月 マイマイガ幼虫大発生(届出 26件)
		10月 北海道救急医療情報システム道央地区で始動(小樽市:病院 20、診療所 83、消防署 1、計 104)
		4月 市民健康フェア開始
1990	2年	8月 三種混合、二種混合、MMR、ジフテリア第3期の各予防接種を医療機関に委託
		9月 育児教室を開始
1991	3年	3月 輸入食品の放射能測定を開始
		〃 食品営業許可証発行システムによる事務を開始
		4月 周辺地区(銭函)胃がん検診を対がん協会に委託
		7月 保育所・幼稚園児の定期検便廃止
1992	4年	4月 小樽市食品衛生協会機関紙「食の灯台」創刊
		〃 第4代所長 丸谷 龍司 就任
		6月 エキノコックス症対策重点地域に指定される
1993	5年	1月 老人保健法による肺がん検診を開始
		3月 成人歯科保健推進事業を開始
		〃 周辺地区(祝津)胃がん検診を対がん協会に委託
		4月 小樽市畜犬取締り及び野犬掃とう条例の全面改正
		11月 老人保健法による基本健康診査と生活習慣改善指導を開始
1994	6年	4月 インフルエンザ予防接種を医療機関に委託
		〃 第5代所長 山本 稔 就任
		〃 老人保健法による健康診査の無料化
		〃 エイズ検査とエキノコックス症検査の無料化
		〃 小樽市夜間急病センター、複数診療科目を有する小樽北生病院に新築、併設
		〃 老人保健法による大腸がん検診を対がん協会に委託
		7月 道のモデル事業として婦人の健康づくり推進事業を開始
		9月 小樽市健康づくり推進員の委嘱(健康づくり組織育成推進事業開始)
1994	6年	6月 周辺地区(桜・望洋台・高島)の胃がん検診を対がん協会に委託
		〃 老人保健法による大腸がん検診を医療機関に委託
		〃 老人保健法による肺がんの街頭健診を開始
		〃 セット健診を北生病院と協会病院で開始
		〃 日曜・おはよう健診の胃がん健診を対がん協会に委託

西暦	年次	記 事		
1995	7年	7月 小樽訪問看護ステーション開設		
		8月 周辺地区（朝里、新光）の胃がん検診を対がん協会に委託		
		9月 小樽市エイズ対策推進協議会発足		
		〃 猫の不妊手術助成開始		
		10月 糖尿病食事療法講習会 20周年記念講演会開催		
		4月 女性の健診に骨粗しょう症検診を追加して開始		
		〃 犬の登録が生涯1回となる		
		〃 精神障害者社会復帰施設「青葉授産所」、「せせらぎ寮」開所		
		〃 老人保健法による機能訓練業務をひまわり会札幌病院に委託		
		〃 「発達相談」開始		
		5月 ペットの飼い主さがし開始		
		〃 老人保健法による訪問歯科指導及び訪問栄養指導開始		
		6月 セット健診を市立小樽病院で開始		
		〃 循環器相談とリハビリテーション相談を開始		
1996	8年	7月 事業所健診の個別相談開始		
		9月 周辺地区（赤岩）の胃がん検診を対がん協会に委託		
		3月 健康づくり推進協議会廃止		
		4月 老人保健法による機能訓練業務をラポール東小樽に委託		
		〃 市民健康教室 400回記念講演会を実施		
		6月 出前健診を開始（天神、最上、オタモイ新道地区）		
		8月 周辺地区（幸、オタモイ、南小樽）の胃がん検診を対がん協会に委託		
		9月 優生保護法の改正（母体保護法）により小樽市優生保護相談所を廃止		
		1997	9年	10月 腸管出血性大腸菌感染症（O157等）のための遺伝子検査法を導入（PCR法）
				2月 老人保健連絡協議会廃止
4月 高齢者栄養教室、精神障害者社会復帰学級開始				
5月 成人のポリオ・生ワクチン追加投与（昭和50年～52年生）				
〃 学校給食による集団食中毒発生（有症者数 85名）				
7月 両親学級開始				
8月 腸管出血性大腸菌（O157）による伝染病発生（患者 2名）				
〃 70歳以上の健康手帳更新				
9月 洋生菓子による集団食中毒発生（有症者数 143名）				
10月 ちびっこ栄養教室開始				
11月 国民栄養調査、糖尿病実態調査実施				
1998	10年	4月 老人保健法による機能訓練業務を老人保健施設はまなすに委託		
1999	11年	4月 子宮体部がん検診を廃止		
		〃 女性の健診の個別相談開始		

西暦	年次	記 事		
2000	12年	8月 乳がん検診に画像診断を導入		
		〃 飲食店にて大型食中毒3件発生(寿司屋251名(告発)、ホテル(65名)、寿司屋(37名))		
		〃 腸炎ビブリオ等による食中毒多発(平成11年度末届出受理件数17件、380名)		
		9月 腸管出血性大腸菌(O26)の保育園での集団発生(患者・保菌者11名)		
		11月 基本健康診査のデータベース化実施		
		〃 北海道民栄養調査実施		
		3月 レントゲン車廃止		
		〃 老人保健法による機能訓練事業保健所直轄A型を廃止		
		4月 老人保健法による機能訓練事業B型をいなきたコミュニティセンターと銭函市民センターにて開始		
		8月 第49回北海道公衆衛生大会開催		
2001	13年	11月 国民栄養調査実施		
		12月 健康・栄養意識調査、食生活実態調査、2000年我が家の夕食調査実施		
		4月 老人保健法による機能訓練事業B型を住ノ江会館にて開始		
		〃 思春期電話相談(サポートコール)開始		
		6月 健康づくり推進員を小樽市健康推進員制度に変更		
		7月 第6代所長 外岡 立人 就任		
		10月 小樽食生活改善協議会30周年式典開催		
		11月 「健康へ!小樽2001市民フォーラム」を開催		
		〃 高齢者インフルエンザ予防接種開始		
		2002	14年	1月 「健康おたる21」策定委員会を設置
3月 歯肉スマイルセミナー「歯周病予防教室」を廃止				
6月 「第1回緑の祭典」を開催				
10月 「健康へ!小樽2002市民フォーラム」を開催				
11月 「ドッグズウォーク in 小樽」を開催				
2003	15年			2月 SARS(新型肺炎・重症急性呼吸器症候群)が香港で発生
				3月 「子育て支援フォーラム」を開催
				〃 一般健康診断・事業所健診・女性の健康診査を廃止
				〃 療育相談・育児相談・7か月児健康診査を廃止
				4月 まちかど健康相談室を開始
		〃 小樽市中高齢者総合健康プログラム(おたる健康総合大学)を開始		
		〃 総合健康相談開始		
		〃 ブックスタート事業開始		
		〃 医療機関に委託していた10か月児健康診査を直営に変更		
		5月 「第2回緑の祭典」を開催		

西暦	年次	記 事		
2004	16年	6月 「第1回食中毒予防フォーラム」を開催		
		7月 「小樽市医療関係者健康危機対策フォーラム」を開催		
		10月 「第55回北海道公衆衛生学会」を開催		
		〃 「健康へ！小樽2003市民フォーラム」を開催		
		12月 禁煙・分煙「空気のおいしいお店」推進事業を開始		
		1月 「第1回院内感染対策『シンポジウム』」を開催		
		3月 「第2回院内感染対策『フォーラム』」を開催		
		6月 「第2回食中毒予防フォーラム」を開催		
2005	17年	12月 HIV迅速検査開始		
		1月 「院内感染対策『フォーラム』」を開催		
		〃 「ノロウイルス集団感染予防講習会」を開催		
		2月 「今冬のインフルエンザ感染予防講習会」を開催		
		6月 「第3回食中毒予防フォーラム」を開催		
		8月 小樽市救急医療体制検討委員会が「小樽市における救急医療体制の構築について」市長に答申		
		10月 「第49回精神保健北海道大会」を開催		
		〃 「平成17年度全国政令市衛生部局長会議総会」を開催		
2006	18年	〃 「第62回全国保健所長会総会」を開催		
		11月 「新型インフルエンザ対策行動計画」策定		
		3月 老人保健法による機能訓練事業を廃止		
		4月 「新型インフルエンザ対策フォーラム」を開催		
		6月 「第4回食中毒予防フォーラム」を開催		
		12月 「感染性胃腸炎予防フォーラム」を開催		
		2007	19年	1月 「昨シーズンにおける市内小中学校のインフルエンザによる学級・学年閉鎖状況と今後の対策について」を開催
				4月 BCG定期接種開始
6月 「第5回食中毒予防フォーラム」を開催				
9月 小樽市夜間急病センター開設30周年記念式典を開催（小樽グランドホテル）				
10月 麻薬・覚せい剤乱用防止運動北海道大会を開催（小樽市民センター）				
2008	20年			4月 公費負担による妊婦健康診査を5回に拡充
				〃 麻しん・風しん第3期及び第4期定期接種開始
				5月 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査・特定保健指導の実施
		8月 「市民健康づくりフォーラム」を開催（小樽市民センター）		
		〃 結核の接触者健診にクオンティフェロン検査導入		
		10月 「薬と健康の週間」消費者懇談会を開催（小樽オーセントホテル）		
		12月 結核定期外健康診断（胸部レントゲン検査）を小樽市立病院に委託		
		2009	21年	3月 まちかど健康相談を廃止

西暦	年次	記 事
2010	22年	3月 おたる健康総合大学文化的プログラムを健康学習プログラムへと転換
		4月 第7代所長 秋野 恵美子 就任
		〃 公費負担による妊婦健康診査を14回（超音波検査6回）に拡充
		〃 小樽市新型インフルエンザ対策本部設置
		〃 女性の健康相談を開始
		〃 乳児家庭全戸訪問事業を開始
		〃 歯周疾患検診を開始
		6月 小樽健康づくりウォーキング推進事業を開始
		9月 女性特有のがん検診推進事業を開始
		10月 新型インフルエンザに関する市民説明会を9地区で開催
2011	23年	〃 新型インフルエンザワクチン接種費用軽減事業を開始
		3月 小樽市新型インフルエンザ対策本部解散
		〃 保健所での特定健診等を廃止
		4月 地域診断事業を開始
		〃 禁煙・分煙「空気のおいしいお店」推進事業の事業名を変更し「おいしい空気の施設」推進事業として拡充
		7月 「小樽市食育推進連絡会」設置
		10月 「第43回がん予防道民大会」開催
		〃 「第1回小樽市食育推進連絡会」開催
		〃 「第2回小樽市食育推進連絡会」開催
		11月 「第3回小樽市食育推進連絡会」開催
2011	23年	1月 地域診断事業アンケート調査「平成22年度小樽市がん検診・特定健康診査実態調査報告書～小樽市国民健康保険加入者～」完成
		2月 「小樽市食育推進計画」策定
		3月 東日本大震災の被災地（岩手県大船渡市）に支援班（4班12名）を派遣（H23.3.28～H23.4.15）
		〃 おたる健康総合大学終了
		5月 「第4回小樽市食育推進連絡会」開催
		9月 「小樽市健康増進計画推進会議」設置
		〃 働く世代のがん検診推進事業（大腸がん検診）開始
		10月 「小樽市がん予防講演会」開催
		〃 地域診断事業アンケート調査「平成23年度小樽市がん検診・特定健康診査実態調査報告書～市内医療機関～」 「平成22年度～平成23年度小樽市がん検診・特定健康診査実態調査報告書～2年間のまとめ～」完成
		11月 国民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査実施
12月 「第1回小樽市健康増進計画推進会議」開催		

西暦	年次	記 事
2012	24年	<p>2月 「第5回小樽市食育推進連絡会」開催 「第2回小樽市健康増進計画推進会議」開催</p> <p>4月 小樽市受動喫煙防止対策ガイドライン策定</p> <p>5月 「第1回市民と考えるセミナー～救急医療ってなんだろう？」開催</p> <p>6月 「第1回小樽市救急医療を考える市民懇話会」開催</p> <p>7月 「第3回小樽市健康増進計画推進会議」開催</p> <p>8月 健康セミナー「知られざる脳卒中の真実」開催</p> <p>9月 「第4回小樽市健康増進計画推進会議」開催 「第2回小樽市救急医療を考える市民懇話会」開催 「救急の日普及啓発事業「第2回市民と考えるセミナー～救急搬送について考える」開催 「不活化ポリオワクチン定期接種開始</p> <p>10月 新小樽市夜間急病センター建設工事着手 「食の安全を考える講演会～食と放射能～」開催 「健康づくりについて語り合うワールド・カフェ」開催 「第6回小樽市食育推進連絡会」開催 小樽市食育教材バンクを開始</p> <p>11月 福島第一原発事故に伴い食品の放射性物質の測定を開始 「第5回小樽市健康増進計画推進会議」開催 「第3回小樽市救急医療を考える市民懇話会」開催 四種混合ワクチン（百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）定期接種開始 国民健康・栄養調査実施 小樽市受動喫煙防止対策ガイドライン改訂</p> <p>12月 地域診断事業アンケート調査「小樽市の医療に関する意識調査報告書」完成</p>
2013	25年	<p>1月 小樽市健康増進計画「第2次健康おたる21」策定</p> <p>3月 歯周疾患検診を廃止 小樽市健康推進員を廃止 麻しん・風しん第3期及び第4期定期接種終了</p> <p>4月 ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン定期接種開始</p> <p>7月 新夜間急病センター（住ノ江1丁目7番16号）診療開始 「第4回小樽市救急医療を考える市民懇話会」開催 おたる・ヘルシーメニュー事業を開始</p> <p>9月 「小樽市救急医療を考える市民セミナー」開催</p> <p>11月 「第7回小樽市食育推進連絡会」開催 小樽市受動喫煙防止対策ガイドライン改訂</p>

西暦	年次	記 事
2014	26年	7月 地域診断事業アンケート調査「保健所の健康情報に関する意識調査報告書」完成
		8月 「第8回小樽市食育推進連絡会」開催
		10月 高齢者等肺炎球菌ワクチン、水痘ワクチン定期接種開始
2015	27年	2月 「ヘルシーメニューのすすめ～カラダ改造は食事から～」開催
		9月 「第1回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
		〃 「すこやかロードを歩こう！inおたる」開催
		11月 「第9回小樽市食育推進連絡会」開催
		〃 「第1回小樽市健康増進計画評価会議」開催
		〃 感染症患者等移送車両改造終了
		12月 「第2回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
2016	28年	2月 「第3回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
		〃 小樽市新型インフルエンザ等対策行動計画策定
		3月 「第2回小樽市健康増進計画評価会議」開催
		〃 地域診断事業アンケート調査「小樽市の乳幼児を持つ子育て世代に関する意識調査報告書」完成
		4月 日本脳炎ワクチン定期接種開始
		〃 動物衛生業務の一部（犬捕獲等業務、犬の適正飼養啓発パトロール業務、収容犬管理及びペット等火葬業務）の民間委託を開始
		〃 養育支援訪問の開始
		5月 「第1回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		6月 「第4回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
		〃 「第2回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		7月 「第3回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		8月 「第10回小樽市食育推進連絡会」開催
		9月 「第3回小樽市健康増進計画評価会議」開催
		〃 「第4回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		10月 「第5回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		〃 第60回精神保健北海道大会を開催
		〃 B型肝炎ワクチン定期接種開始
		11月 平成28年度新型インフルエンザ合同措置訓練
		〃 第1回小樽市健口講座を開催
2017	29年	1月 「第6回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		2月 「第4回小樽市健康増進計画評価会議」開催
		〃 「第5回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
		4月 「第7回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		6月 「第8回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		〃 結核集団感染対策委員会設置

西暦	年次	記 事
2018	30年	7月 「第1, 2, 3回結核集団感染対策委員会」開催
		8月 「第6回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
		〃 「第5回小樽市健康増進計画評価会議」開催
		〃 「第9回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		9月 「第4回結核集団感染対策委員会」開催
		〃 「ペットの献花式」開催
		10月 「第7回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
		〃 「第1回小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催
		〃 「第5回結核集団感染対策委員会」開催
		〃 平成29年度新型インフルエンザ合同措置訓練
		11月 「第6回小樽市健康増進計画評価会議」開催
		〃 「小樽市胃がん検診（胃内視鏡検査）事業説明会」開催
		〃 「第6回結核集団感染対策委員会」開催
		1月 「第2回小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催
		〃 「第7回結核集団感染対策委員会」開催
		2月 「第8回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催
		〃 「小樽市胃がん検診（胃内視鏡検査）講習会」開催
		〃 小樽市健康増進計画「第2次健康おたる21」（改訂版）策定
		〃 「第10回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		3月 「第3回小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催
		〃 「小樽市胃がん検診（胃内視鏡検査）事務説明会」開催
		4月 第8代所長 貞本 晃一 就任
		〃 小樽市結核患者訪問DOTS（直接服薬確認法）事業開始
		〃 「小樽市産後ケア事業」開始
		7月 「第11回小樽市民の歯科口腔保健を考える会」開催
		〃 「第7回小樽市健康増進計画評価会議」開催
〃 「広域災害救急医療情報システム（EMIS）研修」開催		
8月 「放射線研修会」開催		
9月 北海道胆振東部地震発生 小樽市震度4を記録 市内ほぼ全域で停電する		
〃 「ペット慰霊の日」開催		
10月 「小樽市地域災害医療連絡会議」開催		
〃 「第4回小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催		
〃 「小樽市胃がん検診（胃内視鏡検査）講習会」開催		
〃 「第3回小樽市健口講座」開催		
2019	31年	2月 「第9回小樽市健康づくり推進ネットワーク会議」開催（文書会議）
		〃 小樽市健康づくり推進ネットワーク会議終了
		3月 「広域災害救急医療システム（EMIS）初心者研修」開催

西暦	年次	記 事
2019	令和元年	3月 「第5回小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催
		〃 「小樽市胃がん検診(胃内視鏡検査)講習会」開催
		〃 「小樽市結核集団感染報告会」開催
		〃 「生きるを支え合うまち小樽を目指して 小樽市自殺対策計画」策定
		〃 「健康経営の普及推進及び健康寿命の延伸に関する協定」をアクサ生命保険(株)と締結
		4月 風しん第5期定期接種開始
		〃 「小樽市不妊検査助成事業」開始
		6月 「市民健康ウォーキング講座」開催
		7月 「健康経営セミナー」開催
		〃 「オーラルフレイル予防教室」開始
2020	2年	8月 「平成31年度 第1回 小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催
		〃 「平成31年度 第1回 小樽健康増進計画評価会議」開催
		10月 「第4回 小樽市健口講座」開催
		〃 「小樽市胃がん検診(胃内視鏡検)講習会」開催
		〃 「小樽市受動喫煙防止対策に関する説明会」開催
		2月 「小樽市新型コロナウイルス対策本部」設置
		3月 「平成31年度 第2回 小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催
		〃 「小樽市胃がん検診(胃内視鏡検診)講習会」開催
		〃 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、新型コロナウイルスの遺伝子検査を開始
		〃 まちかど子ども健康相談(カンガルークラブ)廃止
〃 幼児教室(やんちゃクラブ)廃止		
2021	3年	4月 「小樽市産後サポート事業」開始
		〃 「5歳児セルフチェック事業」開始
		〃 「ほっかいどうヘルスサポートレストラン推進事業」開始
		9月 「小樽市子育て世代包括支援センター(にこにこ)」開設
		〃 「小樽市子育て世代包括支援センター(にこにこ)赤ちゃん開故事業」開始
		〃 「小樽市子育て世代包括支援センター(にこにこ)幼児開故事業」開始
		〃 「令和2年度 第1回小樽市胃内視鏡検診運営委員会」開催
		10月 「令和2年度 第1回小樽市胃がん検診(胃内視鏡検診)講習会」開催
		〃 ロタウイルスワクチン定期接種開始
		11月 「令和2年度 第1回小樽市健康増進計画推進委員会(旧:評価会議)」開催
1月 第9代所長 田中 宏之 就任		
2月 「小樽市新型コロナウイルスワクチン接種対策本部」設置		
4月 組織改革に伴い、保健所母子保健部門がこども未来部へ統合		
〃 「第1回小樽市新型コロナウイルスワクチン接種対策協議会」開催		

西暦	年次	記 事
2022	4年	<p>6月 「第2回小樽市新型コロナウイルスワクチン接種対策協議会」開催</p> <p>7月 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書発行開始</p> <p>〃 「第3回小樽市新型コロナウイルスワクチン接種対策協議会」開催</p> <p>10月 小樽食生活改善協議会 50周年式典開催</p> <p>〃 「令和3年度 第1回小樽市健康増進計画推進委員会」(書面開催)</p> <p>〃 「第4回小樽市新型コロナウイルスワクチン接種対策協議会」開催</p> <p>12月 「第5回小樽市新型コロナウイルスワクチン接種対策協議会」開催</p> <p>1月 「健康づくり・食生活に関する市民アンケート」実施</p>